

医療デバイス開発の要素・材料技術の最前線

病気の予防や治療にビッグデータを活用されつつある。医療センサーを体内や肌につけることで、食事や運動、睡眠など個人の生活情報を収集し、クラウドで一元管理する。それゆえ、生体情報をいつでも、どんな所でも、調べることができる“医療デバイス”に関する研究開発が盛んで、今後のヘルスケア診断のために大変有効な手段となってくると期待される。

また、医療技術とエレクトロニクス技術の融合を牽引するためには、センシングや半導体技術が基盤となった微細化、無線通信などの要素・材料技術が必須である。本セミナーでは、医療デバイスの最新動向および、要素・材料技術に関して解説する。

開催日時	2014年3月20日(木) 10:30~16:10	【会場】 中央大学駿河台記念館 5F 500会議室 〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
受講料	47,250円(税込) ※ 資料代、弁当代 含	

講師	関谷 毅 氏 東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 准教授	10:30~12:00(質疑含)
プログラム	<p>有機トランジスタを用いたフレキシブルデバイスの最新技術</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フレキシブルエレクトロニクス技術の進歩 2 超薄膜有機トランジスタ、LED、光センサの作製 3 フレキシブル技術を応用した次世代医療用および福祉用デバイスの開発 	

講師	森山 信宏 氏 株式会社クレハ 高機能材事業部 機能材料部	13:00~14:30(質疑含)
プログラム	<p>PVDF ピエゾフィルム等の機能と応用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 PVDF ピエゾフィルム等の基本的性質 2 PVDF ピエゾフィルムの応用例 3 応用に当たっての留意点 	

講師	清水 正男 氏 オムロン(株) マイクロデバイス事業部営業推進部	14:40~16:10(質疑含)
プログラム	<p>ヘルスケア機器とMEMSセンサ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生体計測方法の多様化 2 オムロンのMEMSセンサ 3 血圧/気圧、圧力の測定 4 MEMS/ASIC 混載化のアプローチ 5 ウェアラブルセンシング 6 課題 7 まとめ 	

※プログラム充実のため内容が変更になることもあります。

弊社記入欄	セミナー申込書 (S&T 出版) (DM)	
セミナー名	医療デバイス開発の要素・材料技術の最前線	
所定の事項にご記入下さい	会社名(団体名)	TEL :
	住所 〒	FAX :
	E-mail :	
	部署	役職
	氏名	
お支払方法	(ご便宜の方法を○で囲んで下さい。) 銀行振込・郵便振替	お支払予定 2013年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。折り返し、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。
(E-mailでの申し込みは re@cmcre.com)

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789